

令和4年(2022年)12月22日

保護者の皆様

美幌町立美幌小学校長 橋本 雄一郎

年末年始に向けた抗原定性検査キットの配付について(お知らせ)

日頃は、新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただきありがとうございます。さて、まもなく年末年始を迎えようとしておりますが、この時期、医療機関の多くが休診となり、受診しにくい状況が想定されるほか、医療機関を受診せず、自己検査を希望される方に対し、抗原定性検査キットを配送する「北海道陽性者登録センター」も、配送事業者の休業等により配送に遅れが生じることが予想されます。

このため、北海道では、新型コロナウイルス感染症患者のうち、現在、小学校学齢期の児童が占める割合が高くなっている本道の状況なども踏まえ、年末年始においても、発熱等の症状がある場合に、キットによる自己検査が迅速に行えるよう、道立保健所管内の小学生に学校を通じてキットが配付されることとなりました。

つきましては、お子さんにキットを持たせますので、この文書と一緒に配付しております道からの説明文書をお読みの上、留意事項に従ってお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

記

1 配布物

(1) 抗原定性検査キット 1セット

(2) チラシ3枚 本文書、児童・保護者向けのお知らせ、キットの使用説明書

2 陽性疑い反応が出た場合

検査の結果、陽性疑い反応が出た場合の対応については、児童・保護者向けのチラシ「年末年始に向けた抗原検査キットの配付について」をご参照ください。

3 その他

この度の対応は、道からの指示によるもので、あくまでも希望される方に取り違いなく速やかに行き渡るよう事前配付する趣旨であり、全ての方に受け取りを強制するものではありません。キットが不要の場合は、ご都合のよいとき学校へご返却いただくか、各家庭で処理していただいで結構です。

年末年始に向けた抗原検査キットの配付について

- 今冬においては、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が予想され、道内でも、発熱等の症状のある方が多く発生することが見込まれている中、**特に年末年始は、医療機関の多くが休診となるため、受診しにくい状況**が想定されます。
- また、軽症で、医療機関を受診せず、自己検査を希望される方に対し、**抗原定性検査キットを配送する「北海道陽性者登録センター」でも、この期間は、配送事業者の休業等により、キットの配送に遅れが生じます。**
- このため、**道では、年末年始などにおいても、発熱等の症状がある場合に、キットによる自己検査が迅速に行えるよう、新型コロナウイルス感染症患者のうち、小学校の学齢期のお子さんが占める割合が高くなっている本道の状況なども踏まえ、小学校(※1)を通じて、児童お一人につき1個(1テスト)、抗原定性検査キット(※2)の配付を行うことといたしましたので、次に掲げる事項に留意の上、ご活用いただきますよう、お願い申し上げます。**

※1 保健所設置市（札幌市、旭川市、函館市、小樽市）を除く、道立保健所所管の市町村を対象としています。

※2 キット使用の際は、同包されている使用説明書をご一読ください。

【留意事項】

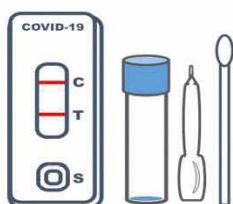
今回配付する抗原定性検査キットは、**必ず、発熱、咳などの症状があるときに使ってください（無症状が続く場合でも返却の必要はありません）**。なお、症状やキットによる検査の結果に応じ、次のとおりご対応ください。

【陽性疑い反応が出た場合】

- ・ 症状が重いお子さん（例：水分が飲めない、ぐったりして動けない、呼吸が苦しい、呼吸が速い、発熱が4日以上続く）や、持病をお持ちのお子さんの場合
⇒直ぐに、かかりつけ医又は健康相談センター（Tel 0120-501-507 / 24 時間）に相談
- ・ 症状が軽く、市販薬等で対応が可能なお子さんの場合
⇒「北海道陽性者登録センター」へ判定・登録を申請[裏面参照]

【陰性疑い反応が出た場合】

- ・ 症状が改善しない場合は、かかりつけ医又は健康相談センターに相談



【お問い合わせ先】

北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課
（北海道新型コロナウイルス感染症対策本部指揮室地域支援班）
電話 011-206-0192（直通）
mail hofuku.kansensho@pref.hokkaido.lg.jp

北海道からのお知らせ

- 新型コロナウイルス感染症抗原検査キット1セットをお送りしています。
- 新型コロナを疑う症状が現れたら、別紙の使用方法をご確認の上、検査をお願いいたします。

【送付内容】

- ・北海道からのお知らせ（本紙）
- ・使用方法（別紙）
- ・緩衝液入り抽出チューブ 1本
- ・抽出チューブ用キャップ 1個
- ・滅菌綿棒 1本
- ・測定力セット 1個

検査手順について

- ・使用方法3に記載の「抽出チューブのスタンド」は送付しておりません。使用方法3は省略して、チューブ内の緩衝液が漏れないように注意しながら、4に進んでください。
- ・使用方法7の結果確認で陽性の場合、測定結果がわかる写真（画像データ）を撮り、保存しておいてください。（陽性者登録センターへの登録申請で使用します）

寒冷期の留意事項（キットの保管は2℃～30℃、検査は15℃～30℃で行ってください）

- ・本品の反応温度は15～30℃です。検査は、この範囲内の気温の場所で行ってください。
- ・15℃以下の場所で本品を保管した場合、室温（15～30℃）に1時間程度置いておくなどして、15～30℃に戻してから検査してください。

● 測定結果が**陽性**であった場合

- ・下記URL等の申請フォームから、**北海道陽性者登録センター**に登録申請をしてください。
- ・センターで確定診断を行い、結果をお知らせします。（原則として、申請から24時間以内にお知らせします）
- ・登録は**WEB申請のみ**となります。

※陽性者登録センターでは、医師の診察は行っていません。薬剤の処方も行いません。

緊急性の高い症状が現れた場合は、医療機関を受診してください。

①の地域の方

②の地域の方

< ① 後志、胆振、日高、渡島、檜山管内にお住まいの方 > ①のバーコード

https://symview.me/medical_interview_flows/hokkaidocenter2/public/?url_kind=1



< ② 石狩、空知、上川、留萌、宗谷、林-ツ、十勝、釧路、根室管内にお住まいの方 >

<https://reg34.smp.ne.jp/regist/switch/00002G0005GldizNkK/positiveMail> ②のバーコード



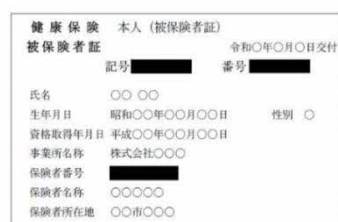
※上記のURL、2次元バーコードにアクセスできない場合、道の陽性者登録のページをご確認ください。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kst/124211.html>

申請フォームや登録方法についてのお問い合わせ先（北海道陽性者登録センター）

- ①の地域 0120-607-601 【受付時間：9時～17時30分】 ※お電話での登録受付はできませんので、予めご了承ください
- ②の地域 0120-025-451 【受付時間：9時～17時30分】 ください（登録はWEB申請でお願いします）

登録申請時の留意事項（画像データの撮影・提出について）



（表面）



（裏面）



マイナンバーカードの裏面は提出しないでください

本人確認書類（身分証明書）について

※健康保険証、マイナンバーカードなど、本人の『氏名』と『生年月日』が確認できるように撮影してください。

※健康保険証は、記号・番号が写らないようにマスキングして撮影してください。

※マイナンバーカードは表面のみ提出してください。

※身分証明書がない場合、母子手帳や住民票などをご準備くださるようお願いいたします。

検査キットについて

※検査結果の判定ラインが確認できるように撮影してください

※測定力セット袋も一緒に撮影してください

新型コロナウイルス感染症に係る北海道のホームページのご案内

新型コロナウイルス感染症情報

・自宅療養セットや宿泊療養についてはこちらからリンク先（陽性と診断された方へ）をご確認ください



チャットボットサービス

・新型コロナウイルスに関する各種情報をQ & A形式でご確認いただけます



療養解除日カレンダー

・陽性者の方の自宅療養期間や濃厚接触者の方（陽性者の同居家族の方）の待機期間はこちらでご確認ください



自宅療養証明書について

・療養証明書についてはこちらでご確認ください
※療養証明書は、重症化リスクのある高齢者など「発生届」の対象となる方のみ発行されます



● 測定結果が**陰性**であった場合、**今後の手続きは不要**です。 ※陰性を証明するための申込はできません。

※症状が続いたり悪化するなど、医療機関の受診を希望する場合は、かかりつけ医、又は、健康相談センター【電話：0120-501-507（24時間）】にご相談ください。

クリニテスト COVID-19 抗原迅速テスト 使用方法

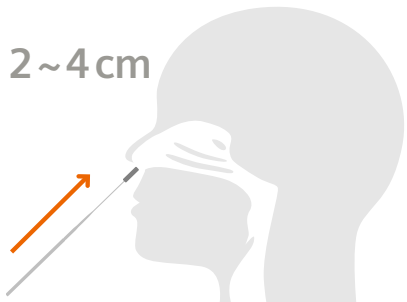
キット内容 ※今回、外箱は添付しておりません



今回3の手順は省略してください

1 滅菌綿棒を鼻孔に挿入

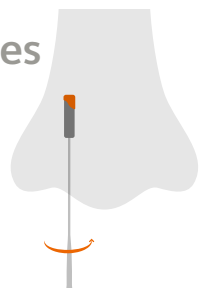
2~4 cm



キット同梱の滅菌綿棒を使用し、片方の鼻孔に慎重に挿入します。抵抗を感じる場合は、それ以上挿入しないでください。

2 両方の鼻腔から検体を採取

5 times



鼻腔の粘膜に沿って滅菌綿棒を5回ほど回転させ、粘液と細胞の両方を確実に採取します。

5 times



もう一方の鼻孔についても同じ滅菌綿棒を用いてこの手順を繰り返し、両方の鼻腔から十分に検体を採取します。



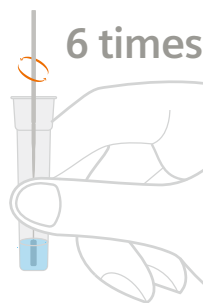
鼻腔から滅菌綿棒を引き出し、検体の前処理に進みます。

3 抽出チューブをスタンドに準備



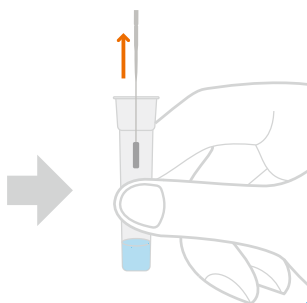
箱裏面に印刷された抽出チューブを差し込み、上部のシール栓を外します。

4 検体を緩衝液に浸す(検体の前処理)



6 times

1 min



抽出チューブに滅菌綿棒を入れ、滅菌綿棒の先端を抽出チューブの底と側部に押し当てながら、6回以上回し、滅菌綿棒を入れたまま1分間待ちます。

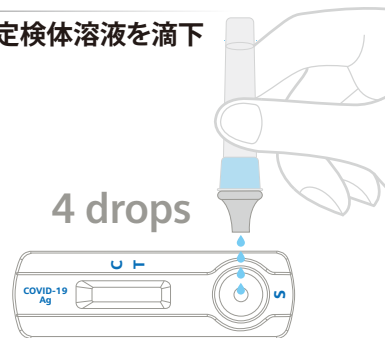
1分後、抽出チューブを外側から数回押し、検体を絞るように滅菌綿棒を引き抜きます。

5 キャップ取り付け



抽出チューブ用キャップの広い部分を抽出チューブに取り付け、隙間がないことを確認します。

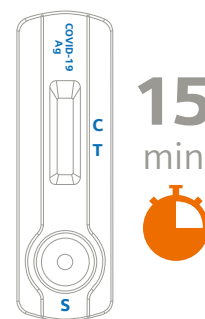
6 測定検体溶液を滴下



4 drops

測定カセット袋から測定カセットを取り出し、水平になる場所に置きます。抽出チューブを垂直に持ち、測定検体の溶液を4滴(およそ100μL)測定カセットに加えます。

7 結果確認



15 min

15分経過後、結果を確認します。



SCAN ME!

動画ではさらに詳しくご覧いただけます。

測定結果の判定方法

※無効となった原因として、検体採取及び操作手順が適切でなかったこと、または測定カセットの期限切れにより劣化していることが考えられます。新しい測定カセットにて再測定を実施ください。

重要な基本的注意

- 本品の判定が陰性であっても、SARS-COV-2感染を否定するものではありません。
- 検査に用いる検体については、厚生労働省より公表されている「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 病原体検査の指針」を参照してください。
- 診断は厚生労働省より発表されている医療機関・検査機関向けの最新情報を参照し、本製品による検査結果のみで行わず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。
- 鼻腔ぬぐい液を検体とした場合、鼻咽頭ぬぐい液に比べ検出感度が低い傾向が認められているため、検体の採取に際して留意してください。
- 検体採取及び取扱いについては、必要なバイオハザード対策を講じてください。

製造販売元

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

〒141-8673 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎 ウエストタワー

www.clinitest.siemens-healthineers.com/jp



SARSコロナウイルス抗原キット
クリニテスト COVID-19 抗原迅速テスト

体外診断用医薬品

製造販売承認番号:30400EZx00015000